

ヒメアカネ

Sympetrum parvulum

兵庫県：要注目

環境省：

種の概要

体長28～37mm程度。成熟した♂は胸部が淡黄緑色で腹部は赤色に黒褐色斑を有している。♀は概ね橙黄色を呈しているが、ごく稀に♂と同様に赤化する個体も見られる。平地から山地の樹林に囲まれた、浸出水のあるような湿地や休耕田に生息し、幼虫は水生植物の根際や泥底にうずくまっている。成虫は6月～12月に見られる。



写真提供：二宗誠治

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市、三田市、猪名川町、加古川市、小野市、加西市、加東市、多可町、姫路市、神河町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町、篠山市、淡路市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○			○

特記事項

湿地のアカネ属のトンボで、生息地、個体数が減少傾向にある。

保護上の留意点